別紙１）

災害時要支援者対策促進事業

令和6年度　　　災害時要支援者対策ステップアップ事業　　　　　　　　計画書

事業実施主体（間接補助事業者）　○○○自治公民館　（△△△市社会福祉協議会）

|  |  |
| --- | --- |
| １　実施地区 | ○○○自治公民館 |
| ２　実施体制 | 自治会長（主催）  関係住民（有志住民、民生児童委員、福祉推進員、自主防関係者等 ３０名）  町防災・土木担当者 |
| ３　事業内容  （１）災害発生時、集落全員が助け合って確実に避難できるよう、支え愛マップを作成し、支援  が必要な人の一人ひとりについてどんな支援が必要か確認しながら避難体制をつくる。  （２）支援体制の確認のため、個別の避難支援を含めた避難訓練を実施する。  （３）支え愛マップ作成を通じて、災害時に限らず日常的に気配りの必要性があると判明した人  には、愛の輪協力員を置いたり、民生児童委員が定期的に声かけを行うなど見守りを行う体制  について話し合う。    （４）支え愛マップ作成を通じて、近所の人が困っていれば支え合うという意識の浸透を図る。  【備品導入について（活動に必要となる理由、期待する効果）】  地域に住む足の不自由な人を円滑に避難させる上で必要となるため、リヤカーと車椅子を設置  した上で、避難支援を住民同士で行う体制をつくる。 | |
| ４　事業の目標・期待される効果  　地域が高齢化しており、災害時の避難や日常生活が一人では難しくなっている人が身近にいることを住民全員で認識することが目標。  地域の現状を共有し、日ごろから近所同士を思いやり、困ったことを支え合う気運につなげたい。  （事業の成果）  報告書として提出するとき、新たに生まれた活動や、取り組んでみて成果と感じられたことを記入してください。 | |

他の補助金の活用の有無　（　有　・　無　）

※他の補助金の活用の有無について、「有」、「無」のいずれかに○をしてください。

※「有」の場合は、活用する補助金名やその事業内容、当該補助金に係る問い合わせ先（補助金を所有している部署名や団体名及び連絡先）を記載してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 補助金名 | 事業内容 | 問い合わせ先 |
|  |  |  |
|  |  |  |

※標題のいずれかの事業名に○をしてください。

（別紙３）

記入例

災害時要支援者対策促進事業

令和6年度　　　　災害時要支援者対策ステップアップ事業　　　　　収支予算書

事業実施主体（間接補助事業者）　○○○自治公民館（△△△市社会福祉協議会）

収入の部　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 本年度予算額  （本年度決算額）(A) | 前年度予算額  （本年度予算額）(B) | 増　減  (A)-(B) | 摘　要 |
| 県補助金 | 25,000 | 0 | +25,000 |  |
| 市町村補助金 | 25,000 | 0 | +25,000 |  |
| 自己財源 | 20,000 | 0 | +20,000 |  |
| 計  県補助金と市町村補助金の割合は、  市町村社協に確認のうえ御記入ください  （原則として1/2ずつです）。 | 70,000 | 0 | +70,000  「災害時要支援者対策促進事業」については、新規に取組む集落が対象なので、前年度予算は0です。 |  |

支出の部　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 本年度予算額  （本年度決算額）(A) | 前年度予算額  （本年度予算額）(B) | 増　減  (A)-(B) | 摘　要 |
| 災害時要支援者対策促進事業 | 70,000 | 0 | +70,000 |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 計 | 70,000 | 0 | +70,000 |  |

（注）必要に応じて区分内容等は修正してください。

※標題のいずれかの事業名に○をしてください。

（別紙３の２）

記入例

災害時要支援者対策促進事業

令和6年度　　災害時要支援者対策ステップアップ事業　　支出予定（支出）額内訳書

事業実施主体（間接補助事業者）　○○○自治公民館　（△△△市社会福祉協議会）

（単位：円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科　　目 | 支出予定（支出）額 | 積　算　内　訳  申請の時：支出予定額  報告の時：支出額 |
| 報償費  旅費  需用費  　消耗品費  　燃料費  　食糧費  　印刷製本費  役務費  　通信運搬費  　手数料  　保険料  使用料及び賃借料  備品購入費 | 10,000  5,000  15,000  40,000 | 講師謝金　　　　　　　　　　　10,000円  マップ作成筆記用具・文房具代　　 3,400円  懐中電灯用電池4個包　800円＊2＝1,600円  支え愛マップ作成時資料印刷代　 10,000円  各戸配付用マップ印刷代　　　　　5,000円  避難用リヤカー25,000円＊１台＝25,000円  避難用車いす　15,000円＊１台＝15,000円 |
| 合　計 | 70,000 |  |

※標題のいずれかの事業名に○をしてください。

※単価３万円未満の器具等の購入は、消耗品費に計上してください。